

## Weekly Reports 2021-2022



国際ロータリー第2680地区  
**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



2021-22年度 RI会長;シエカール・メータ地区ガバナー;吉岡 博忠  
加古川ロータリークラブ会長;藤本 光一 / 幹事;畑 公平  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和3年12月7日(火) 曇 No. 15



会長挨拶



米山功労者マルチプル



新会員の中田・瀧川会員



誕生日祝



結婚記念日祝



出席表彰

### 会長の時間

会長 藤本 光一

皆さんこんにちは

本日は年次総会並びに次年度理事選挙となっております。いよいよ次年度に向けての活動が始まります。

さて、日本国内では新型コロナウイルスが感染者数のうえでは落ち着いているように思えます。しかしながら変異種のおミクロン株が話題になっているようで、もう少し様子を見ないと感染の強さ等はわからないようです。現在の状態がずっとつづいてこのまま正月を迎えたいものです。

先日 土曜日、日曜日と地区のロータリー研修デーが2日間にわたって開催されました。ロータリーの5大奉仕である、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、クラブ管理運営及び戦略計画セミナー、青少年奉仕の研修が開催されました。私は青少年奉仕のセミナーに出席してきました。研修に参加していただいた皆様ご苦労様でした。

私が出席した青少年奉仕セミナーでは青少年交換プログラム、RYLA、ローターアクト、インターアクトの各プログラムの説明や活動状況等のお話がありました。

青少年交換プログラム(交換留学生)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中断されていましたが、来年7月からは再開され、地区からは5名の方が派遣される予定だそうです。また、RYLA(青少年指導者養成プログラム)についても来年5月26日から29日までの4日間開催される予定ですが、例年ですと小豆島の余島で行われていましたが、コロナの影響を考慮して今回は神戸ポートピアホテルを会場として行われる予定です。このように、ロータリーの活動も徐々にではありますが、再開されていくように思われます。当クラブも従来のような活動に戻していけたらと考えております。

また、今日は大変うれしいニュースがございます。来られた時におわかりのように、2名の方が入会されました。後程紹介があろうかと思いますが、よろしくお願いいたします。

## 幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース  
例会変更のお知らせ  
明石 RC ◇12月 8日(水)→クリスマス親睦家族例会のため 5日(日)  
於;ホテルキャッスルプラザ  
◇12月29日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]  
◇2022年1月 5日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]  
高砂 RC ◇2022年1月14日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]  
高砂青松 RC ◇2022年1月 5日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]  
◇2022年1月19日(水)→新年家族例会のため 22日(土)  
午後6時～ 於;ミル・アンジュ  
加古川中央RC ◇12月16日(木)→年末例会のため 午後6時～  
於;加古川プラザホテル2階  
◇12月23日(木)→休会[定款第7条第1節(d)]  
◇12月30日(木)→休会[年末年始休み]  
加古川平成RC ◇2022年1月 5日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
- 2) 新会員の中田桂太郎会員、瀧川松平会員の配属は親睦活動委員会と国際奉仕委員会です。
- 3) 本日例会終了後、加古川商工会議所4階特別会議室に於いて12月度の理事会を開催します。

## 定例理事会

### 《審議事項》

- 1) 令和4年1月・2月プログラムに関する件  
原案通り承認。
- 2) 次年度理事選挙に関する件  
別途開票結果、総会議事録通り承認。
- 3) 会員親睦例会収支決算に関する件  
原案通り承認。
- 4) ポリオ撲滅キャンペーン収支決算に関する件  
原案通り承認。
- 5) 3クラブ合同例会収支決算に関する件  
原案通り承認。
- 6) インフォーマルミーティングに関する件  
1/25(火)、1/27(木)、2/1(火)、2/8(火)、2/10(木)に実施することで承認。

## 議会議事録

日時・場所: 令和3年12月7日(火) 例会場  
次年度副会長 釜谷 和明  
次年度副幹事 吉田 太郎

次年度理事選挙開票結果

投票総数 47名×6名連記 = 282 票  
有効投票数 269 票  
無効投票数 13 票

10年以上の部

大辻利紀 30 票  
橋本真人 23 票  
藤本陽一 10 票 (次点)  
中尾知也 7 票 (次々点)

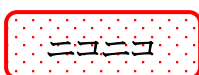
5年以上10年未満の部

富田裕樹 29 票  
山本亜也夫 25 票  
鶴田彰二 12 票 (次点)  
岡田賢治 11 票 (次々点)

1年以上5年未満の部

安井 剛 38 票  
高見徳男 22 票  
太田稔宏 13 票 (次点)  
平崎泰彦 7 票 (次々点)

※ここでは、上記12名のみの票数を記載しております。



- 省 略 ☺ 中田桂太郎君、瀧川松平君、ご入会おめでとうございませ  
よろしくお願いいいたします。
- 省 略 ☺ 本日の総会クラブ協議会宜しくお願いいいたします。
- 省 略 ☺ 先日のロータリー研修デー、ご出席いただいた皆様ご苦勞様で  
した。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 新会員、中田桂太郎さん、瀧川松平さん、ようこそ加古川ロータ  
リークラブへ。
- 省 略 ☺ 本日、総会・クラブ協議会宜しくお願ひします。
- 省 略 ☺ 新会員として、中田さん、瀧川さんを迎えた喜び。
- 省 略 ☺ 本日の次年度理事を決める選挙、どうぞよろしくお願ひ申し上  
げます。
- 省 略 ☺ 大辻さん、カレンダーありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 瀧川さん、中田さん、入会おめでとうございませ。
- 省 略 ☺ 中田さん、入会おめでとうございませ。
- 省 略 ☺ 瀧川松平さん、入会おめでとうございませ。
- 省 略 ☺ 中田桂太郎君、瀧川松平君、入会おめでとうございませ。
- 省 略 ☺ 中田さん、瀧川さん、ご入会おめでとうございませ。よろしくお願  
ひします。
- 省 略 ☺ 瀧川さん、中田さんが入会された喜び。
- 省 略 ☺ 瀧川、中田様ご入会した喜び。
- 省 略 ☺ 祝 瀧川さん、中田さん、ご入会おめでとうございませ。またゴ  
ルフいきましょう！

- 省 略 ☺ 瀧川さん、中田さん、御入会したよろこび。
- 省 略 ☺ 中田さん、瀧川さん、入会おめでとうございます！写真もたくさん有り難うございます。
- 省 略 ☺ 伝統ある加古川 RC に入会させていただきましてありがとうございます。  
どうぞ宜しくお願い致します。
- 省 略 ☺ 加古川ロータリークラブに入会させていただき、ありがとうございます。
- 省 略 ☺ うちの親父はなんとか新年を迎えられそうです。元気にしています。
- 省 略 ☺ 親睦例会のご参加ありがとうございました。今月の忘年例会もよろしく願います。
- 省 略 ☺ 結婚記念日の花ありがとうございました。
- 省 略 ☺ 写真頂きありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真有難うございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございました。
- 省 略 ☺ 写真いただきました。ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真 ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真 ありがとうございます！！
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上35件 ¥50,000-  
 また、12月のお祝いを受けられた方々より ¥39,000-  
 ¥89,000-  
**本年度累計¥777,000-**

**出席委員会**

- ☆ 今 週 会員数 74 名 出席 42 名 出席免除 17 名 欠席 15 名
- ☆ 欠 席 者 省略
  
- ☆ 前 々 週 会員数 72 名 出席 40 名 出席免除 16 名 欠席 16 名
- ☆ メークアップ ロータリー研修デー 社会奉仕セミナー12/5 高田、松尾
- ロータリー研修デー 国際奉仕セミナー12/5 船原
- ロータリー研修デー クラブ管理運営セミナー、戦略計画セミナー  
12/6 芝本
- ロータリー研修デー 職業奉仕セミナー 12/6 桑田圭
- ロータリー研修デー 青少年奉仕セミナー 12/6 藤本光、河合

**親睦活動委員会**

- 例会場当番
- 12月14日(火) 大山、前川容
- 12月18日(土) 吉川、正木



プログラム委員会

本日12月7日(火)	12月14日(火)	12月21日(火)	12月28日(火)
総会・ クラブ協議会 次年度理事選挙	卓話 「大相撲」 大辻担当	例会変更 (日時・場所変更) 忘年例会 18日(土)午後6時～ 於;加古川プラザホテル 2階	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)]

\* \* \* \* \* 1月プログラム \* \* \* \* \*

月 日	行 事	備 考
1月 4日(火)	例会取りやめ	[定款第7条第1節(d)]
1月11日(火)	新年例会	
1月18日(火)	クラブ協議会	前半期の報告
1月25日(火)	優良職業人表彰 (場所変更)	於;加古川プラザホテル2階 職業奉仕委員会担当

### ポリオ根絶の最終目標に向けた世界ポリオデー特別プログラム

10月24日にオンラインで行われた [2021年世界ポリオデー特別プログラム](#)では、ロータリーの目標である「ポリオをなくす」ことが手の届くところまで来ていると、世界保健分野の専門家が述べました。「Delivering on our promise of a polio-free world」(ポリオのない世界という約束を果たす)と題された30分間のプログラムでは、ポリオ根絶活動の進捗状況と今後の課題についての情報が提供されました。

2021年の現在までに報告された野生型ポリオの発症例は世界全体で2件のみで、ポリオ常在国であるアフガニスタンとパキスタンでそれぞれ1件の感染が報告されています。これは今までで最も少ない数です。

[質疑応答](#)では、世界保健機関(WHO)東地中海地域担当ディレクターのハミド・ジャファリ博士が、成果を裏付ける要因を挙げました。それらは、新型コロナウイルスによる中断期を経て、ポリオの大規模な予防接種キャンペーンが再開されたこと、過去に発生した野生型ポリオによる自然免疫、新型コロナウイルスによる旅行や人口移動の制限などです。

2つの常在国で同時にこのような減少が見られるのは前例のないことだと、ジャファリ氏は述べています

ジャファリ氏は、発症数の減少は医療従事者にとって好機であるとしながらも、夏はポリオウイルスに感染する確率が高い季節であり、ポリオが再燃する可能性があるかと警告しています。ジャファリ氏は、質疑応答の司会を担った「TIME」誌編集長、ジェフリー・クルーガー氏に対し、だからこそ今、この機会を有効に活用すべきだと強調しました。

また、ジャファリ氏は、アフガニスタンにおける政治的変化や治安の問題についても言及し、アフガニスタンのポリオプログラムは、不確実性の中で活動を適応させることに慣れていると説明しました。「現在は、大規模な予防接種キャンペーンを実施するために、アフガニスタンのすべての地域にアクセスできるような機会も訪れている」と述べました。

WHOとUNICEF(国連児童基金)の発表によると、アフガニスタンでは11月初旬に全国的な戸別訪問によるポリオワクチン接種が再開される予定です。これにより、過去3年間ワクチン接種が禁止されていた地域の子どもたちにも接種が可能になります。

アフガニスタンの状況が変化する中、パートナー団体がポリオ根絶プログラムの中立性と公平さを維持することが最も重要だとジャファリ氏は話します。「いつものように、私たちはすべ

ての関係者と協力していきます」

アフガニスタンのポリオプラス委員長であるモハメド・イシャク・ニアズマンド氏は、パキスタンのポリオプラス委員長であるアジズ・メモン氏とのビデオ演説で、ジャファリ氏の言葉を繰り返しました。

ニアズマンドさんは次のように話します。「アフガニスタンでは、変化の中にあっても、ポリオ根絶が最優先事項であることを確認するため、ロータリーとパートナー団体があらゆる関係者と協力しています。子どもたちが命を救うポリオワクチンやその他の小児向けワクチンを確実に入手できるよう、作業が進められています」

ロータリー財団管理委員でもあるメモン氏は、ロータリーは政府、地域社会、宗教のリーダーとの信頼関係を築いていると話します。「ポリオ予防接種と並行して幅広い医療サービスを子どもや家族に提供することで、より良い医療を実現し、ワクチンの受け入れ態勢を整えることができる」と語ります。

## 未来への戦略

今年、**世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)** は、循環型ワクチン由来ポリオウイルスへの対処を含め、すべてのポリオウイルスを根絶するための 5 年間 (2022~2026 年) の新戦略を発表しました。ロータリーと **GPEI のパートナー団体** は、ポリオ根絶に向けて残された障壁を特定し、目標達成のためのアプローチを策定しました。この計画は、革新的な方法やツールを用いながら、実施とアカウンタビリティに重点を置くことで、ポリオのない世界を達成、維持することを目的としています。

**「2つの国で同時にこのような減少が見られるのは、本当に前例のないこと」**

ハミド・ジャファリ博士

世界保健機関(WHO) 東地中海地域担当ディレクター

強調すべきは、ポリオ発生時における対応時間の短縮、ワクチン需要の拡大、医療やワクチンへのアクセス向上、政府による予防接種プログラム管理への移行、意思決定とアカウンタビリティの向上です。

「ポリオが最も流行している地域は、基本的な医療や福祉の欠如に直面している地域でもある」とジャファリ氏。ジャファリ氏は、「ポリオプログラムが(単一の) 予防接種というより、統合されたアプローチであるとみなされるよう、ほかの基本的な医療や福祉との連携を強化、統合する」ことが目標だと述べました。

また、一部の地域では、予防接種キャンペーンの実施方法に問題があったり、ワクチン接種へのためらいがあることで、未だに子どもたちにワクチンを接種できないことがあります。ジャファリ氏は次のように述べます。「この新しい戦略は、新しいアプローチ、新しい戦略で地域社会を巻き込み、新しい協力関係を築くことを目的としています」

世界ポリオデー特別プログラムでは、世界保健の専門家が、新戦略の一つとして、循環型ワクチン由来ポリオウイルスである **cVDPV2** に対処するための新型ワクチンの配布を拡大することを取り上げました。この**新型経口ポリオワクチン 2 型 (nOPV2)** は、子どもたちをポリオから守る一方で、遺伝的に安定しており、ウイルスが力を回復してワクチン由来ポリオを引き起こす可能性が低いものです。既にベナン、チャド、リベリア、ニジェール、ナイジェリア、コンゴ共和国、シエラレオネなど、アフリカの複数国で導入されています。

この新型経口ポリオワクチンは、「最も困難な課題を克服するためのポリオプログラムの革新性を示す例」だと、WHO ポリオ担当ディレクターのシニアアドバイザーであるシモナ・ジプルスキー氏は述べています。「世界中のパートナー、科学者、リーダーたちによって nOPV2 が開発されました。これこそ、ポリオを永久に葬るためのコラボレーションです」

今年のプログラムでは、アフガニスタンとパキスタンのポリオワーカーの力強い**映像**が紹介されたほか、ロータリー会員が**日本を含む各地でのプロジェクトやイベントを紹介**し、ポリオ根絶活動への認識を高めました。

2021年10月25日